

『砂鉄川災害復旧事業竣工式』を開催！

河川課

一関総合支局土木部 千厩土木センター

平成21年7月11日（土）、狛鼻溪河川敷公園において、砂鉄川災害復旧事業の竣工式を開催しました。地権者をはじめとする地元の方々、国会議員、県議会議員、国、県、市の関係者など約200名が参加し、テープカット、くす玉割り、記念碑の除幕、げいび幼稚園の園児によるヤマメの稚魚の放流を行い、工事の完成を祝いました。

「7月11日」は、平成14年の台風6号で甚大な被害が発生した日ですが、竣工式当日は、7年前の洪水が嘘のような晴天に恵まれ、竣工式後の祝賀会も盛況のうちに終わりました。



竣工式 テープカット（くす玉開披）の様子



竣工式典の状況



副知事式辞



稚魚放流の様子



記念碑除幕

砂鉄川激甚災害対策特別緊急事業・河川等災害関連事業の概要

平成14年7月11日、猛威をふるった台風6号は、砂鉄川流域に大きな災害をもたらしました。このような災害を防ぐために、河川激甚災害対策特別緊急事業により、砂鉄川、山谷川及び猿沢川の抜本的な治水対策を行いました。

この事業は、一関市東山町の町中を流れる砂鉄川を短期間で大きく改修するものなので、事業を進めるにあたっては、ワークショップ等を開催し、住民の方々の意見を取り入れながら自然環境に配慮した河川整備を進めました。

◆平成14年7月の豪雨状況

7月10日午前1時から降りだした降雨の総雨量は191mmにも達し、特に、時間最大雨量は37mmを観測しました。この台風6号はカスリン台風（昭和22年9月）、アイオン台風（昭和23年9月）に次ぐ大きな台風でした。

このため、東山町約2,400世帯のうち、約30%が浸水被害（床上浸水743戸、床下浸水222戸）を受け、浸水面積は529haという甚大なものでした。さらに、約900世帯、約2,100人に避難勧告が発令されました。

◆事業概要

河川激甚災害対策特別緊急事業

改修期間（平成14年度～平成20年度）

改修延長 砂鉄川 3,400m

猿沢川 1,070m

山谷川 330m

総事業費 約89億円

河川等災害関連事業

改修期間（平成14年度～平成16年度）

改修延長 砂鉄川 1,960m

総事業費 約5億円

被災時



改修後



ワンド（よどみ）への移植状況

○住民参加の川づくり

砂鉄川の災害復旧工事は、通常の治水対策のみならず、自然環境に配慮した河川整備を進めるために、地元関係者や学識経験者の方々から意見をいただく委員会や懇談会、ワークショップ等を開催し、計画段階から地域の声を取り入れ、自然や水辺に親しめる多自然川づくりを進めてきました。



ワークショップ開催状況